

## 市長選報道の在り方 福井大生22人が学ぶ

オンラインでNIE講座

新聞を通して社会を知り、主権者意識を育むNIE(教育に新聞を)の出前講座は17日、福井大生を対象にオンラインで開かれた。1～4年の22人が勝山市長選の報道を題材に、新聞の読み取り方や実社会へ関心を持つ大切さを学んだ。

NIEを担当する福井新聞社みんなの新聞部のデスクが講師を務めた。工学部、国際地域学部、教育学部の学生が共通教育として受講

した。

11月に投開票された勝山市長選について講師は、福井新聞社が実施した世論調査や、候補者への政策アンケート、告示前の連載などの記事を示しながら「読者の関心を高め、候補者選びの参考にしてもらおうと、積極的に公平な報道を心がけている」と報道姿勢を説明。「身近なところから社会に関心を持って」と社会参加の大切さを説いた。論説の読み比べのワークシヨップでは学生が各紙の主張を読み解き、ニュースのポイントを探った。(藪内弘昌)